

# 平成19年度病害虫発生予察注意報第1号

平成19年7月13日  
鳥取県病害虫防除所

## 注意報の概要

シンクイムシ類の発生が多く、果実への被害が懸念されます。今後、シンクイムシ類の重要な防除時期となるため、防除の徹底が必要です。

## 病害虫名：シンクイムシ類（特にナシヒメシンクイ）

- 1 対象作物 ナ シ
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

- (1) ナシヒメシンクイの越冬世代成虫（第1回成虫）、第1世代成虫（第2回成虫）のフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べてやや多かった（表1）。今後、第2世代成虫（第3回成虫）の発生が多くなるものと予想され、前年並に多い発生量が見込まれる。
- (2) 平成18年度から開始したフェロモントラップにおけるシンクイムシ類の誘殺数は、発生が多かった前年より密度が高い地点が散見される（図1、2）。
- (3) 6月に、ナシヒメシンクイの第1世代幼虫による果実の被害が一部で認められている。
- (4) 向こう1か月の気象予報から、ナシヒメシンクイの第2世代成虫の発生最盛期は、平年並の7月中～下旬頃と予想される。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) 授粉樹に残っている果実はシンクイムシ類の発生源となるので、早急に除去する。また、シンクイムシ類の被害果が認められた場合は、直ちに切除し果樹園外に持ち出し、処分する。
- (2) 今後、特に重要な防除時期となるため、定期的な薬剤散布により発生密度を低減させる。防除薬剤は各地域の防除暦を参考にする。
- (3) 発生が多い地域及び昨年度にシンクイムシ類の被害が多かった園では、今後の基幹防除を徹底するとともに、収穫前にアグロスリン水和剤2,000倍液などを追加散布する。
- (4) 防除に当たっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業等者の安全の確保に努める。

表1 フェロモントラップにおけるナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺数（頭）

| 月・旬 | 北栄町 |    |      | 湯梨浜町 |     |       |
|-----|-----|----|------|------|-----|-------|
|     | 本年  | 前年 | 平年*  | 本年   | 前年  | 平年**  |
| 4月計 | 8   | 11 | 19.9 | 144  | 200 | 127.6 |
| 5月計 | 8   | 3  | 1.6  | 22   | 41  | 19.8  |
| 6月計 | 11  | 11 | 4.0  | 99   | 85  | 49.8  |
| 7月上 | 4   | 14 | 3.4  | 18   | 19  | 16.9  |
| 中   |     |    | 6.0  |      |     | 15.5  |
| 下   |     |    | 9.9  |      |     | 25.0  |

注) 平年\* : H12～18年、平年\*\* : H9～18年

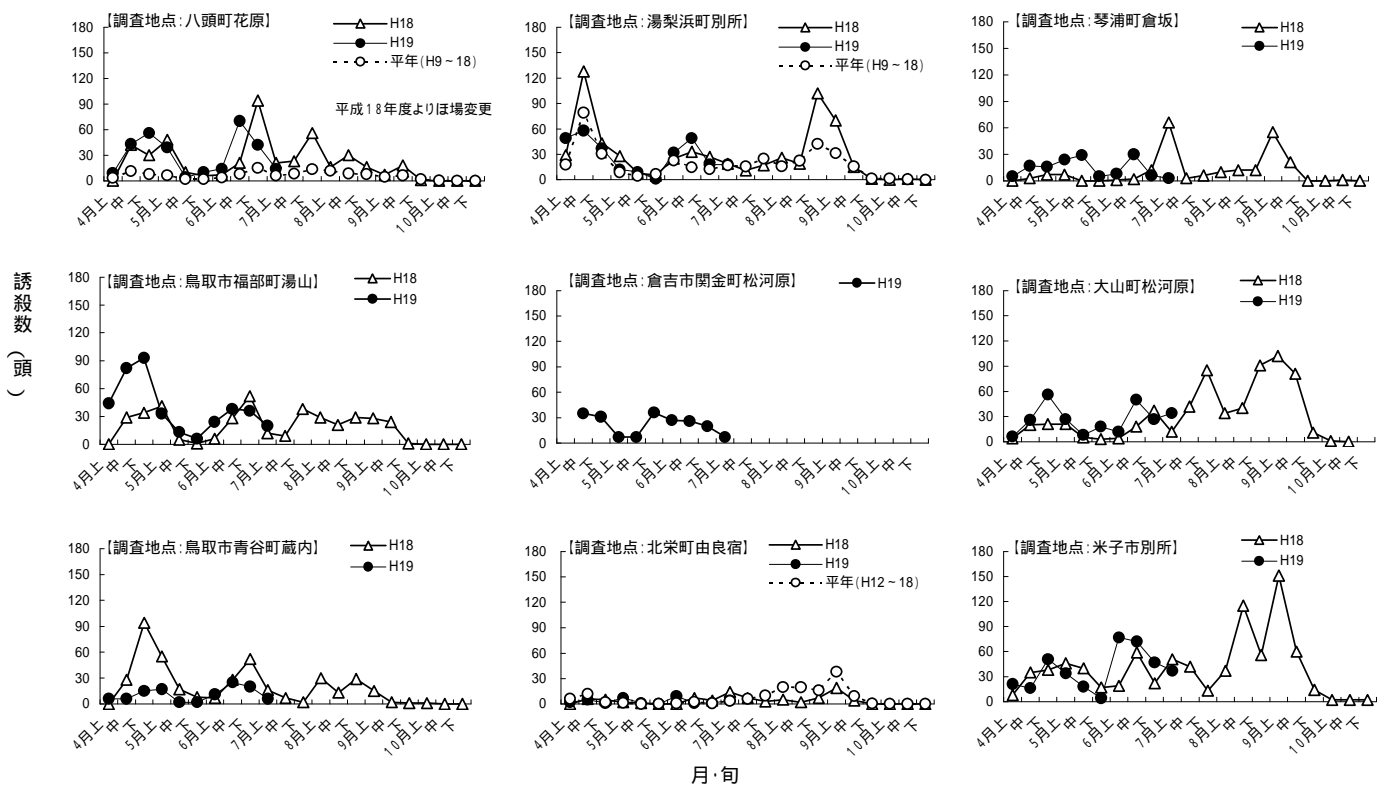


図1 フェロモントラップにおけるナシメシンクイ雄成虫の誘殺消長(各地区まとめ)

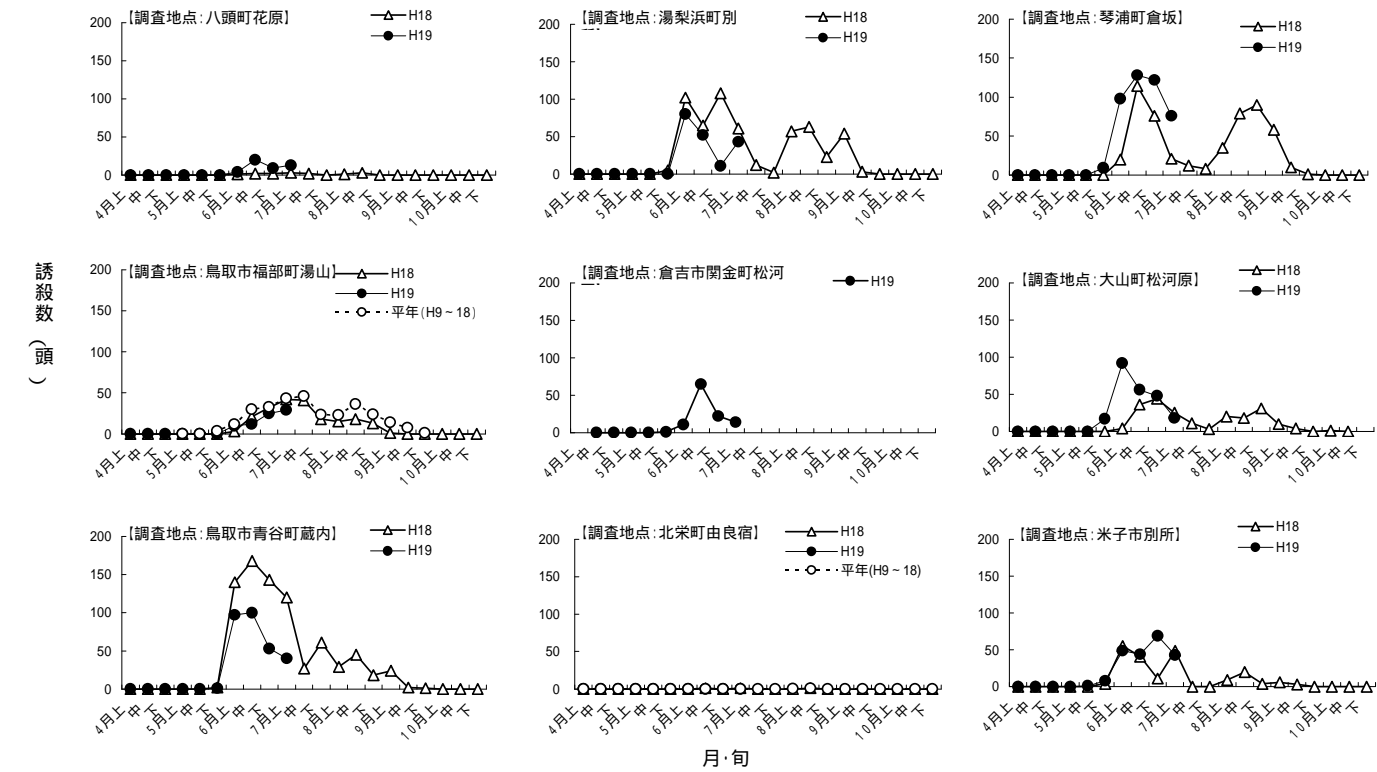


図2 フェロモントラップにおけるモモシンクイガ雄成虫の誘殺消長(各地区まとめ)